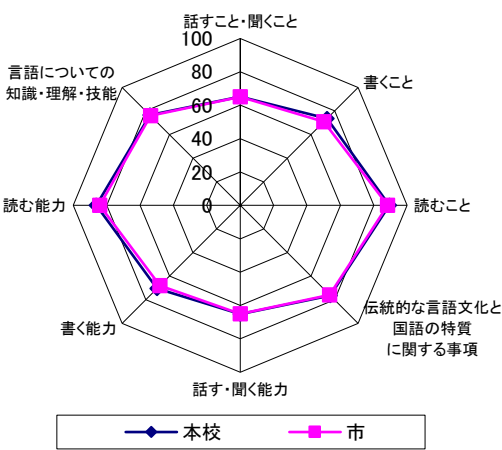


宇都宮市立桜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	65.2	65.0	62.9
	書くこと	73.5	70.9	71.3
	読むこと	89.4	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.3	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	65.2	65.0	62.9
	書く能力	70.4	68.0	68.0
	読む能力	86.2	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	76.4	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話相手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことは、市の平均とほぼ同等だった。 ●「司会者の役割を理解して計画的に話し合ことができる」という設問については市の平均をわずかに上回ったが、正答率は33.6%と低かった。	・聞き方については、力がついてきた児童が増えてきているので、相手の話を聞くときには、要点を押さえながら自分の考えとの共通点や相違点を意識させる指導を続けていく。 ・授業での発表や学級会などの機会を通して、自分の意見の伝え方や、人の意見の聞き方の指導を引き続き行っていく。
書くこと	○記事を読んで意見文を書くことについては、市の平均正答率と比べても、しっかり内容を理解して、適切に書き表すことができています。 ●指定された長さで文章を書くことについては、67.3%と市の平均を下回っている。	・資料から読み取れることを文章に書き表す力が育ってきている。授業において感想や振り返りを文章で書いたり、自分の考えを文章にまとめたりする学習を今後も続けていく。さらに、テーマに沿って作文する活動も取り組ませていきたい。
読むこと	○説明文の内容を読み取ることにについては、市の平均正答率と比べても、文章の内容を的確に読み取ることができている。 ●物語の内容を読み取ることにについては、登場人物の心情を読み取る設問で、市の平均を下回っている。	・場面や出来事の移り変わりを明確にしながら物語文を読む指導を引き続き行っていく。また、登場人物の心情にスポットを当てて考えさせたり、相違点や変化に着目させたりしながら読み取らせていくようにしたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○5年の配当漢字の書きについては、4問中3問で市の正答率を上回っている。 ●漢字の読みについては、市の平均正答率を下回った問題が多かった。	・漢字の読み書きやことばに関しては、授業中だけでなく興味をもって自主的に取り組むよう助言していきたい。また、分からない漢字は自分で辞典などで調べる習慣を身に付けさせたい。 ・朝の学習や宿題などで、5年時の漢字の復習に取り組ませる。